

MAEBASHI FOCUS

国際交流員 (CIR) ニュースレター

皆さん、ハウディ！

ここ数週間で一気に暑さが増してきましたが、その暑さをこれでもかというほど実感したのが、7月10日から12日にかけて開催された「前橋七夕まつり」でした。

私が所属する文化国際課では、姉妹都市であるアメリカ・アラバマ州バーミングハム市と協力し、「前橋市×バーミングハム市」をテーマにした特別な七夕飾りを制作しました。バーミングハム市の市民の皆さん、さらには市長ご本人からも、願い事をお預かりすることができました。そして、私たちは会場中央に設置した笹に飾り付けました。



完成した笹

この取り組みは、バーミングハム市で開催された七夕祭りとも連動しており、イベントに参加した多くの家族から短冊何十枚分もの願い事が届きました。皆さんにご協力いただいたことを本当にうれしく思いますし、一枚一枚に込められた心温まる、そして個性あふれる願い事を読むのもとても楽しい時間でした。

笹の飾り付け作業は大変でしたが、とてもやりがいのある仕事でした。普段はデスクワークが中心なので、屋外で作業をしながら「どこに何を飾れば一番きれいに見えるか」を考えるのは新鮮で楽しかったです。ただ、気温は30℃前後まで上がっており、真夏の日差しの中で約1時間作業をするのは、なかなか大変でした。

実は、飾り付けには思わぬハプニングもありました。当初は高さ1.5メートルほどの笹を用意する予定だったのですが、実際に届いた笹はその倍近い大きさ！準備していた15枚ほどの短冊では、とても飾り切れるサイズではありませんでした。

幸い、そのタイミングでバーミングハム市から追加の願い事が届いたため、すぐに印刷して翌日に追加で飾り付けました。さらに、短冊の形をした飾りも新たにデザイン・印刷して枝を彩りました。



笹を持っている私

最初は「1時間くらいで終わるだろう」と思っていた作業が、気づけば3日間にわたるプロジェクトに。それでも完成した笹飾りは、会場の中でもいちばん素敵な出来栄になったのではないかと思います！

お祭り当日も大盛況でした。商店街があれほど多くの人で埋め尽くされているのを見たのは、昨年の前橋まつり以来です。まるで群馬県中から人が集まってきたかのような賑わいで、その中心に私たちの笹飾りが他の作品と並んで飾られているのを見たときは、とても誇らしい気持ちになりました。

もちろん、日本のお祭りといえば屋台グルメも欠かせません。屋台は通りをぐるりと囲むように並び、誘惑に負けず素通りするのはとても無理でした。私はお気に入りのお店「グラッサ」が祭り限定で出店していたブースへ行き、フライドチキンバーガーとクッキーアイスサンドをいただきました。

暑さもあって長居はできませんでしたが、自分たちが準備した七夕飾りが多くの人に見てもらっている様子を実際に見ることができ、とてもうれしかったです。来年はさらに大きな笹を用意して、バーミングハム市だけでなく、友好都市であるメナシャ市やイタリア・オルヴィエート市からも短冊を集め、もっとにぎやかな七夕飾りを作れたらと思います。



前橋七夕まつり